

RYOBI®

エンジン 高圧洗浄機

EJP-190DX

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1~3
各部のなまえ	4
仕様、付属品	5~6
使用準備	7~8
ホースの脱着方法	9~10
始動	10~12
運転	13~14
終了	14
点検と整備	15~17
長期保管、薬剤散布について	18
故障かなと思ったら	19

このたびは、リョービエンジン高圧洗浄機をお買上げいただきありがとうございます。

安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで正しく、安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

(注) : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を、必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に、必ず保管してください。

△ 警告

ご使用前は

1. 小石、ガラス、くぎ、針金、ひもなどの異物を作業場から取除いてください。
 - ・刃物に当り飛散して、作業者や周囲の人がけがをする原因になります。
2. 強風、雨のとき、および夜間は使用しないでください。
 - ・安全な作業ができないため、けがの原因になります。
3. 換気の悪い場所や建物の中では、絶対にエンジンを始動、運転しないでください。
 - ・一酸化炭素中毒の原因になります。
4. 次のような人、または状況下では使用しないでください。安全な作業ができないため、けがの原因になります。
 - ・子供には使用させないでください。
 - ・生理中、妊娠中の人は使用しないでください。
 - ・疲れているとき、病気の時、酔っているときは使用しないでください。
 - ・薬物の影響、その他の理由で、正常な運転ができない人は使用しないでください。
 - ・機械の知識のない人や、他人の機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。
5. 無理な使用をしないでください。機械に無理がかかり、反動でけがをする原因になります。
 - ・機能に適さない使用をしないでください。
 - ・使用限界が示されているものは、必ずその使用範囲で使用してください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。安全に作業するための身だしなみです。
 - ・すそじまりのよい長そで、長ズボンを着用してください。
 - ・宝石や、物に引っ掛りやすいものは、身に付けしないでください。
 - ・ヘルメットなど、労働省検定規格に合格した保安帽を着用してください。
 - ・長い髪は、肩までの長さに結わえてください。
 - ・足元保護のため、安全靴を着用してください。
 - ・耳栓、または耳覆いを付けてください。
 - ・手袋を着用してください。
7. 作業時は、保護メガネを着用してください。
 - ・着用していないと、切りくずなどが目に入り、けがの原因になります。
8. 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
 - ・着用していないと、粉じんを吸込み、病気の原因になります。
9. 始動する前に、取付けに用いたドライバーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
 - ・取外していないと、始動のはずみにドライバーなどが飛び、けがの原因になります。
10. 各部の点検をしてください。損傷箇所やネジなどの緩みがあると、けがの原因になります。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部の位置調整、および締付状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売（株）営業所で修理を行ってください。

- ・使用前に、必ず各部のネジが緩んでいないか、オイル、グリスが入っているか、漏れないかを点検してください。
11. 本取扱説明書、およびリョービカタログに記載されている純正部品以外のものを使用しないでください。
 - ・事故やけがの原因になります。
 12. エンジンを回さないで、機械の操作方法を練習してください。
 - ・より安全に使用していただくためです。

ご使用中は

13. 無理な姿勢で作業しないでください。けがの原因になります。
 - ・作業は、両足でしっかり踏ん張り、身体全体でバランスを取ってください。
 - ・作業は腕力だけで振回さず、無理のない操作をしてください。
 - ・傾斜地の作業は、滑りやすいので足元に十分注意してください。
14. 次の場合は、エンジンを停止させてください。エンジンを運転したままにしていると、けがの原因になります。
 - ・作業を中止したり、移動するとき。
 - ・作業中に機械から離れるとき。
 - ・付属品を交換するとき。
 - ・使用しない、または修理するとき。
 - ・機械の調子が悪かったり、異常音がしたとき。
 - ・その他、危険が予想されるとき。
15. エンジンを始動するときは、次のことに注意してください。
 - 始動と同時に刃物などが回転し、けがの原因になります。
 - ・周囲に人、動物、障害物がないかを十分確認してから始動してください。
 - ・しっかり機械を固定してください。
16. 作業はゆとりを持って行なってください。より安全に作業していただくためです。
 - ・取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して、慎重に作業してください。
 - ・燃料を補給するとき、休憩するようにしてください。
 - 連続使用すると、振動により、白ろう病にかかる恐れがあります。
17. 作業中はもとよりエンジン停止直後は、マフラーやエンジン本体など高温部に触れないようにしてください。
 - やけどや火災の原因になります。
 - ・マフラーやマフラー周辺に、可燃物を置いたまま、エンジンを運転しないでください。

燃料について

18. 燃料補給の際は、次のことを守ってください。
 - マフラー、排気ガスは高温であるため、燃料に引火し、やけどやけがの原因になります。
 - ・燃料補給は、必ずエンジンを停止させて、十分冷えてから行なってください。
 - ・火気の近くでは、絶対に燃料補給しないでください。特にタバコを吸いながらの作業は行わないでください。
 - ・燃料はこぼさないように補給し、こぼれたときはふき取ってください。
 - ・補給後は、補給場所から3メートル以上離れて、エンジンを始動してください。

ご使用後は

19. 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。
 - ・機械の知識がない人が使用し、けがの原因になります。
20. 修理は、お買上げの販売店、またはリョービ販売（株）営業所にお申付けください。
 - 修理の知識がない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - ・修理、調整をするときは、エンジンを停止し、点火プラグのコードを抜いてください。
 - ・損傷箇所がある場合は、修理してから収納してください。この場合、部品、消耗品は、指定の純正部品を使用してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。
 - ・保管時や輸送時は、燃料を抜いてください。また機械をしっかりと固定してください。

▲ 注意

1. 燃料は、自動車用無鉛ガソリンを、必ず使用してください。
 - ・エンジンの焼付き、またはエンジン不調の原因になります。
2. 注意深く手入れをしてください。安全に能率よく作業していただくためです。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・握り部は常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリスが付かないようにしてください。
 - ・長時間保管するときは、燃料タンク、キャブレタ内の燃料を抜いてください。
 - ・各部を十分清掃し、金属部分には薄くオイルを塗ってください。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じて、しゃ音壁を設けるなどしてください。

● 高圧洗浄機ご使用に際して

先にエンジン工具として共通の注意事項を述べましたが、高圧洗浄機をご使用の際には、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

ご使用前は

1. 本機は水のかからない、水平で安定した場所に設置してください。
2. エンジン取扱いの詳細は、同梱のエンジン説明書をお読みください。
3. バッテリー液を注入するときは、皮膚に付いたり、目に入ったりしないようにしてください。
 - ・やけどの原因になります。
4. バッテリー液についての注意事項は、同梱のバッテリー液箱の注意事項をお読みください。

ご使用中は

5. 噴射の方向に人、動物、壊れやすいものなどがないことを確認してから作業してください。
 - ・ガンのノズルからは、非常に高圧の水が噴射され、けがなどの原因になり危険です。
6. 両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用してください。
 - ・確実に保持していないと、バランスを崩し、けがの原因になります。
7. 水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
 - ・非常に高圧の水が噴射されているため、けがの原因になります。
8. ガンのレバーを、ひもや針金で固定して使用しないでください。
 - ・とっさに噴射を停止することができず、けがの原因になります。
9. 作業を中断するときや、付属品のノズルなどを付替えるときは、ガンのレバーを放し、ガンのレバーにある安全装置をセットしてください。
 - ・誤ってガンのレバーを握ると、けがの原因になります。

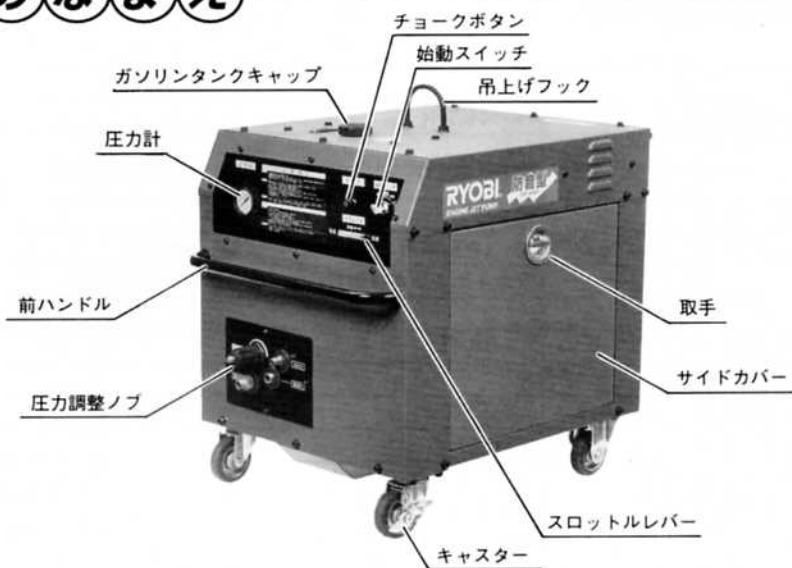
ご使用後は

10. エンジンを停止した後は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてください。
 - ・圧力が残っていると、ガンから高圧で残水が噴射され、けがの原因になります。
11. 高圧ホースをガンやポンプから外す場合は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてから外してください。
 - ・ホース内に水が残っているため、外したときに反動で、けがをする原因になります。

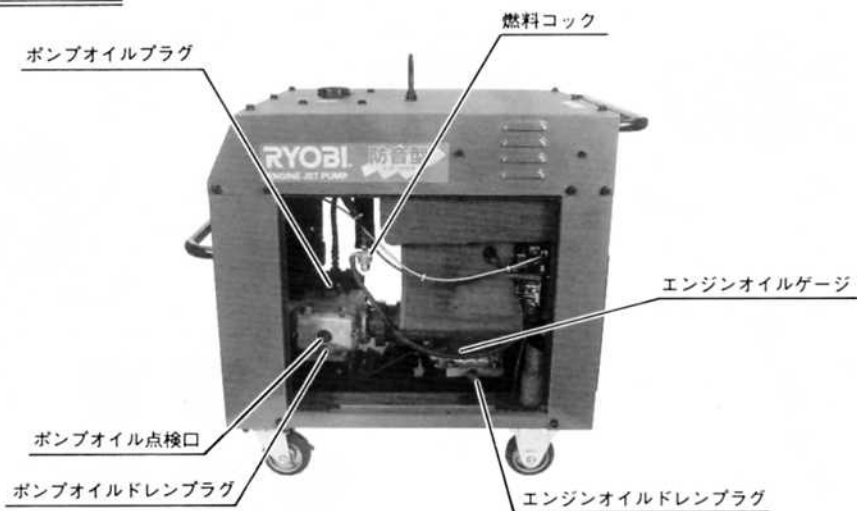
⚠ 注意

1. エンジンオイル、ポンプオイルの点検を行ってください。
 - ・規定量入っていないと、焼付きなどの故障の原因になります。
2. ポンプ内に水がない状態で、1分以上運転しないでください。故障の原因になります。
 - ・運転した場合は、エンジンを停止させ、5分以上放置し、ポンプを十分冷却した後、運転を再開してください。
3. 噴射圧力は最大圧力以内で使用してください。
 - ・故障の原因になります。
4. エンジンオイル、ポンプオイルの交換は、取扱説明書の指示に従い、定期的に行ってください。
 - ・故障の原因になります。
5. 凍結の恐れがある地域では、ポンプ、および高圧ホース内の水を抜き、十分陰干しの後、収納してください。
 - ・水が凍り、故障の原因になります。
6. 本機を誤って落したり、ぶついたりしないでください。故障の原因になります。
 - ・落したりした場合は、本機に異常がないか確認した後使用してください。
7. 海水を使用したり、薬物散布後は、十分清水を吸入、噴射させ、洗い流してください。
 - ・ポンプ、ホース、およびノズル内に薬剤などが残留していると、故障の原因になります。
8. サイドカバー、エアクリーナ点検口パネル、リコイルスタータパネルを開けたまま運転しないでください。
 - ・故障の原因になります。
9. バッテリー交換の際には、接続を間違えないでください。
 - ・故障の原因になります。
10. バッテリーは、絶対にプラスとマイナスをショートさせないでください。
 - ・バッテリーの電極板が劣化したり、破損の原因になります。
 - ・バッテリーターミナルは強く締付けてください。

各部のなまえ



サイドカバーを開けた所



仕様、付属品

●仕様

型 式			E J P - 1 9 0 D X
寸 法	長さ×幅×高さ	mm	869×622×750
重 量		kg	119
ポンプ	形 式		3連プランジャ
	許 容 水 温	℃	60以下
	オ イ ル 容 量	ℓ	0.6 (自動車用エンジンオイル SAE 10W-30)
エンジン	形 式		空冷4サイクル傾斜方横軸・OHVガソリンエンジン
	排 気 量	cc	296
	連続定格出力	PS/r.p.m.	7.5/3600
	最大出力	PS	10.0
	最大トルク	kg・m/r.p.m.	1.97/2800
	キャブレタ		フロート式
	点火方式		無接点マグネット点火
	スパークプラグ		NGK BP5ES
	始動方式		セル、リコイルスタータ
	オ イ ル 容 量	ℓ	1.2 (自動車用エンジンオイル SAE 10W-30)
使用バッテリー			12V 24Ah
燃 料	使用燃料		自動車用無鉛ガソリン
	タンク容量	ℓ	6.0 (連続運転 約2時間)
能 力	圧 力	kgf/cm ²	190 (約190bar)
	水 量	ℓ/min	16

※ 重量には燃料は含まれていません。

●通常付属品 (箱をあけましたら、以下のものがそろっているかよくお確かめください。)

●ガン



●ストレーナ



●⊕ドライバー

●プラグレンチ



●高圧ホース

(20m)



●余水ホース

(3m×内径φ13mm)



●キー



●吸水ホース

(3m×内径φ13mm)



●バッテリー液

(サイドカバーを開けた所にあります。)



●バッテリーキャップ



● 別販売品

● ランス

長さ 1m



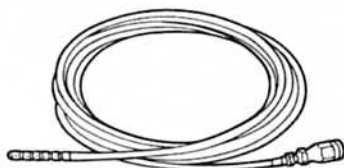
● ターボノズル

高圧直進ノズルを回転させて、洗浄効率を大幅に向上させ、広い面積の洗浄を能率よく行なうことができます。



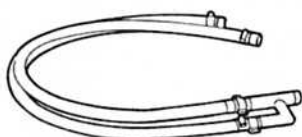
● パイプクリーニングキット

ホースの先端から高圧水を逆噴射することにより、パイプの中を進みながら洗浄を行ないます。



● 水道給水アダプタ

洗浄水の余水（残り水）をポンプの吸水口にに戻します。水道給水ホースに接続して使用します。



● ホースリール（可搬用）

両側の取手を持ち、容易に移動できます。（40m巻）



● 継手ホース

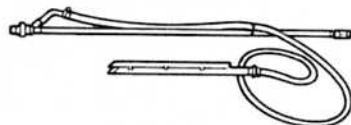
（可搬ホースリール用）

ホースリールと本体を接続します。



● サンドブラストキット

噴射する水に直径約0.25～2.5mmの砂を混入させ、高圧水だけでは落ちないサビ、貝殻、ペンキや海草落しなどを行ないます。



● ロータリーブラシ

水圧により、内側のブラシが回転し、窓や床などの広い面積のブラシ洗浄を高速で行ないます。



● バリアブルノズル

噴射角度を直進から拡散（霧状）まで連続的に変えることができ、幅広い用途に対応します。

直進 泥などの洗い流しに。

拡散 薬剤散布などに。



● パイプクリーニングバルブ

パイプクリーニングホースの噴射と停止が手元で操作できるとともに、長時間の連続した作業が楽にできます。

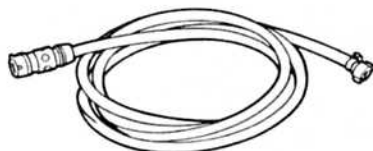


● 水道給水ホース

水道水を直接利用する場合に使用します。ホースの水道側はワンタッチカバーになっておりますので、蛇口に簡単に接続できます。

（注）

水道からの給水量が1分間に16ℓ以上あることを確認したうえ、使用してください。



● 用途

・ 洗浄、散水、薬剤散布作業

使用準備

● キャスター

向かって右側前のキャスターで操作をしてください。

ブレーキ

- ・ キャスターのブレーキレバーを前側に出し、ブレーキレバーを下ろしてください。

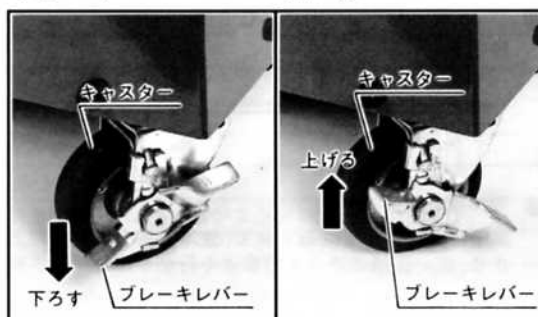
解除

- ・ キャスターのブレーキレバーを前側に出し、ブレーキレバーを上げてください。

作業中はブレーキで使用してください。

ブレーキ

解除



● サイドカバー

取外し

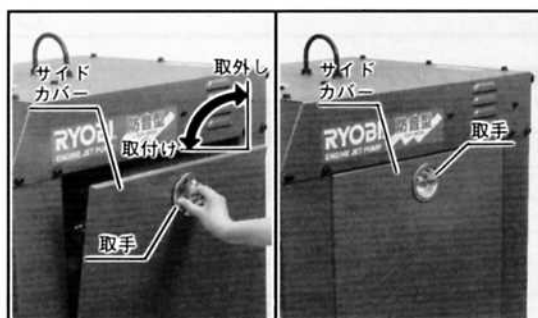
- ・ 取手を右に回し、サイドカバーを取外してください。

取付け

- ・ サイドカバーを取付け、取手を左に回してください。

取外し

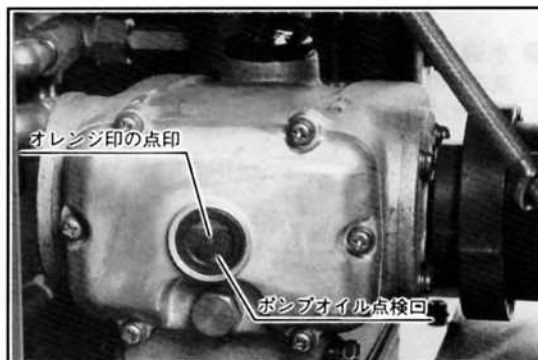
取付け



● ポンプオイル

1. サイドカバーを取外してください。
2. ポンプオイル点検口をのぞき、中央のオレンジ色の点印より上まで、オイルがあるか確認してください。万一、不足している場合は補充してください。
3. サイドカバーを取付けてください。

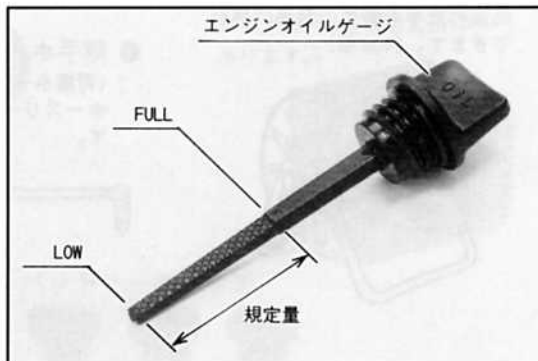
交換はP.15を参照してください。



● エンジンオイル

1. サイドカバーを取外してください。
2. エンジンオイルゲージをねじ込まない状態で差込み、オイルが規定量あるか確認してください。万一、不足している場合は補充してください。
3. サイドカバーを取付けてください。

交換はP.16を参照してください。



● バッテリー液

⚠ 警告

・バッテリー液を注入するときは、皮膚に付いたり、目に入ったりにしないようにしてください。

1. サイドカバーを外してください。
2. バッテリー注入口に貼ってあるシールをはがしてください。
3. バッテリー液を、バッテリーの各槽の上の線 (UPPER LEVEL) と、下の線 (LOWER LEVEL) の間まで入れてください。
4. キャップを確実に取付けてください。
5. サイドカバーを取付けてください。

⚠ 注意

・この製品には、バッテリー液が注入してありませんので、使用前に、必ず同梱のバッテリー液を注入してください。

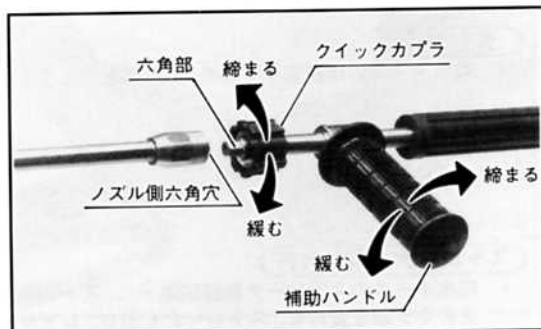


● ガンとノズルの組付け

⚠ 警告

・付属品のノズルなどを付替えるときは、ガンのレバーを放し、ガンのレバーにある安全装置をセットしてください。

- ・ガンの先端に付いたクイックカブラの六角部に、ノズル側ランスの六角穴を合わせて差込み、クイックカブラを最後まで回して固定してください。

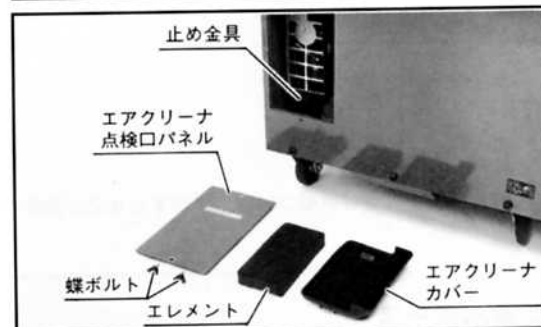


● 補助ハンドルの固定

- ・補助ハンドルを緩め、作業しやすい位置に移動して、締付け固定してください。

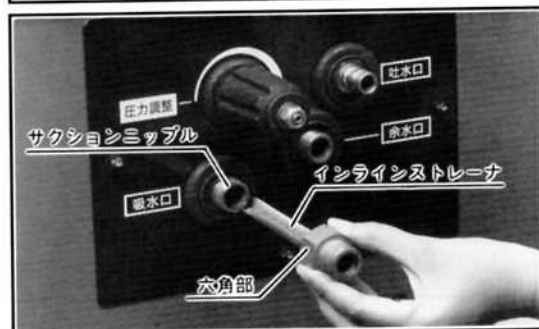
● エアクリーナ

1. エアクリーナ点検口パネルの蝶ボルトを2ヶ所緩め、パネルを外してください。
2. エアクリーナカバーの止め金具を外し、エアクリーナカバー、エレメントを外してください。
3. エレメントが汚れているとき、オイル分がなく乾いているときは、ガソリンで洗浄してエンジンオイルに浸し、片手で軽く絞って、元の位置に組付けてください。
4. エアクリーナ点検口パネルを取付け、蝶ボルトを締付けてください。

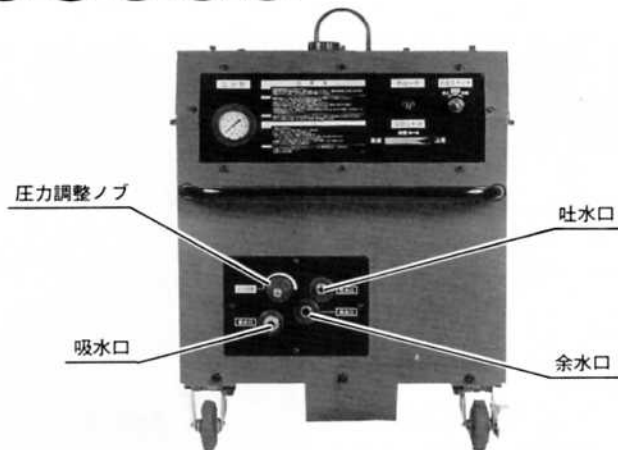


● インラインストレーナ

1. インラインストレーナの六角部を、お手持ちのモンキーレンチで緩め、外してください。
2. ストレーナ (金網) を、水で網目のつまりを取るよう洗ってください。
3. インラインストレーナをサクシヨニツプルに取付けてください。ゴムパッキンが入っているので、必要以上に強く締付けないでください。ゴムパッキンが傷みます。



ホースの脱着方法



ホースは下記の順に取付けてください。

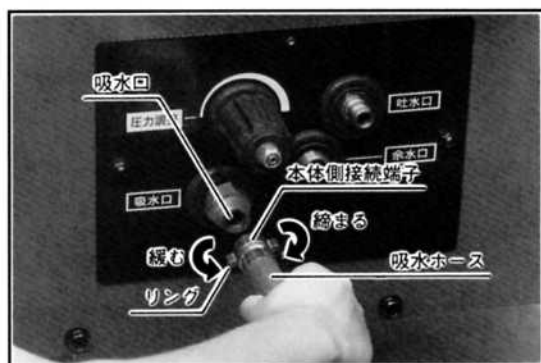
● 吸水ホース

取付け方

- 吸水ホースの本体側接続端子を、本体の吸水口に差込み、接続端子のリングを回し、しっかりと締付けてください。

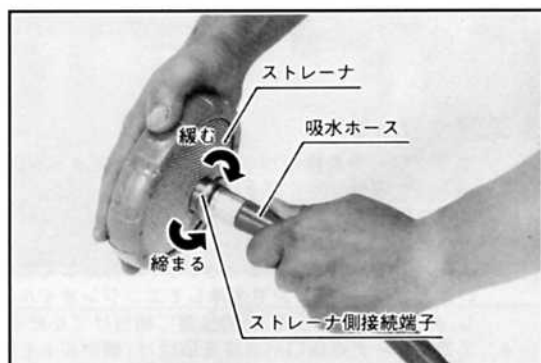
外し方

- 吸水ホースの接続端子を緩め、ホースを外してください。



ストレーナの取付け方

- 吸水ホースのストレーナ側接続端子に、ストレーナの止めネジ部を合わせ、ストレーナを回し、しっかりと取付けてください。



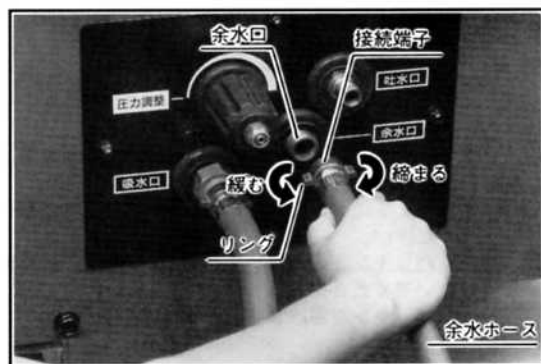
● 余水ホース

取付け方

- 余水ホースの接続端子を、本体の余水口に差込み、接続端子のリングを回し、しっかりと締付けてください。

外し方

- 余水ホースの接続端子を緩め、ホースを外してください。



● 高圧ホース

⚠ 警告

- ・ 高圧ホースをガンやポンプから外す場合は、ガンのレバーを引き、圧力を抜いてから外してください。
- ・ 噴射の方向に人、動物、壊れやすいものなどがないことを確認してから圧力を抜いてください。

取付け方

- ・ 高圧ホースのワンタッチジョイント凹部のリングをホース側に移動したままの状態、本体の吐水口に押付け、リングを元に戻すと接続できます。

外し方

- ・ 高圧ホースのワンタッチジョイント凹部のリングをホース側に移動させると外れます。



高圧ホースとガンの取付け方

- ・ ガンのワンタッチジョイント凹部のリングをガン側に移動したままの状態、高圧ホース凸部を差し込み、リングを元に戻すと接続できます。

高圧ホースとガンの外し方

- ・ ガンのワンタッチジョイント凹部のリングをガン側に移動させると外れます。



始動

燃料タンクに燃料（自動車用無鉛ガソリン）を入れてください。

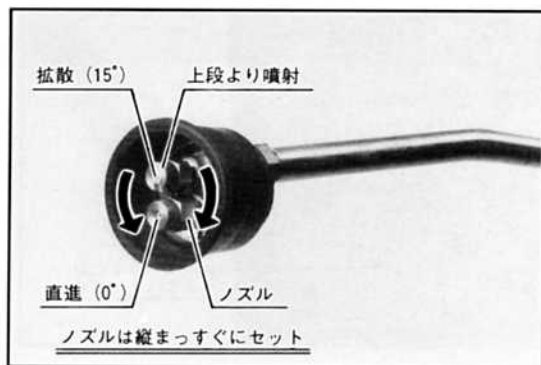
(注)

- ・ こぼれた燃料はふき取ってください。
- ・ 購入後、2~3ヶ月以上経過した古い燃料は、エンジン不調の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

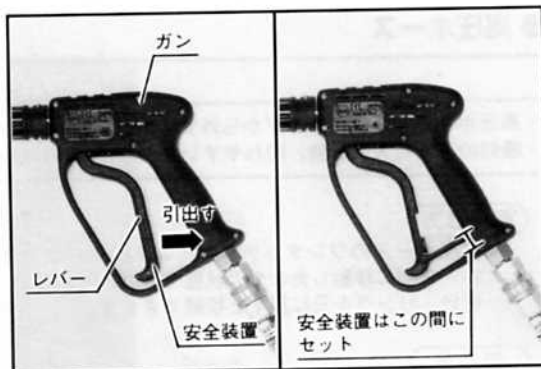
1. 希望する噴射角度のノズルを上段にセットしてください。

(注)

ノズルは縦まっすぐにセットしてください。



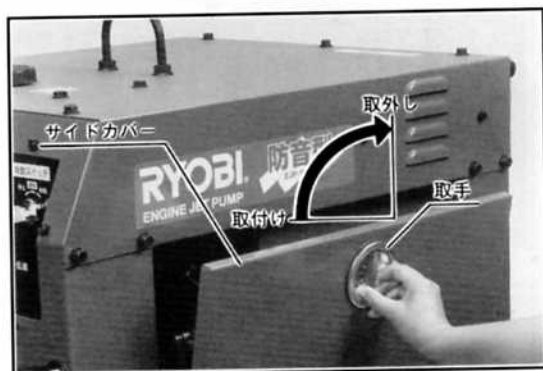
2. ガンのレバーにある、安全装置を引出し、止め位置にセットしてください。



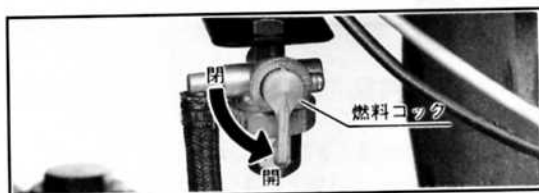
3. ストレーナをたまり水に完全に水没させてください。
(注)
たまり水の中に、ゴミや沈殿物がないようにしてください。
ストレーナにつまり、吸水ができなくなります。



4. サイドカバーの取手を右に回し、サイドカバーを取外してください。



5. 燃料コックを開いてください。
6. サイドカバーを取付け、取手を左に回してください。



7. スロットルレバーを「始動」の位置にしてください。



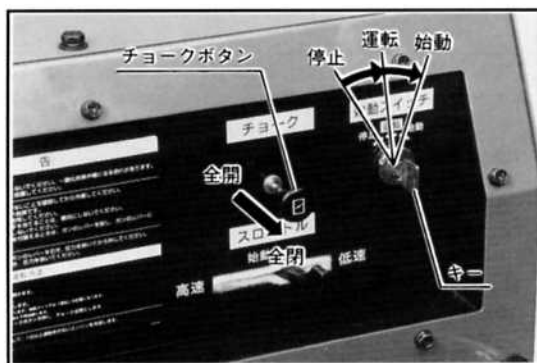
8. チョークボタンを一杯引き、チョークを全閉にしてください。

9. キーを始動スイッチに差込み、**運転**の位置にしてください。

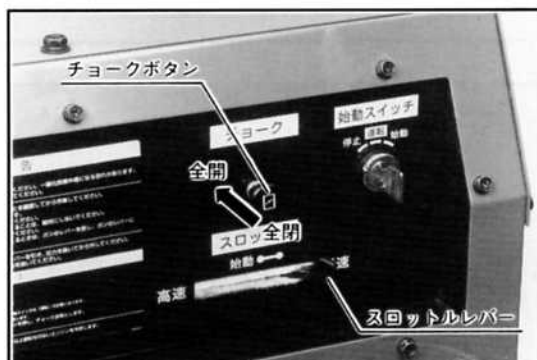
さらに右へ回し、**始動**の位置にすると、エンジンが始動します。

(注)

- ・エンジンが始動したら、すぐ始動スイッチから手を放してください。始動スイッチは**運転**の位置になります。
- ・セルモータを5秒回しても始動しなければ、5秒以上休んで再始動してください。
- ・エンジン運転中は、始動スイッチを**始動**の位置に、絶対に回さないでください。



10. エンジンの調子をみながら、徐々にチョークボタンを押し、チョークを全開にした後、スロットルレバーを**低速**にし、低速運転（アイドリング）にしてください。



11. 余水ホースから水が出て来るのを確認してください。

(注)

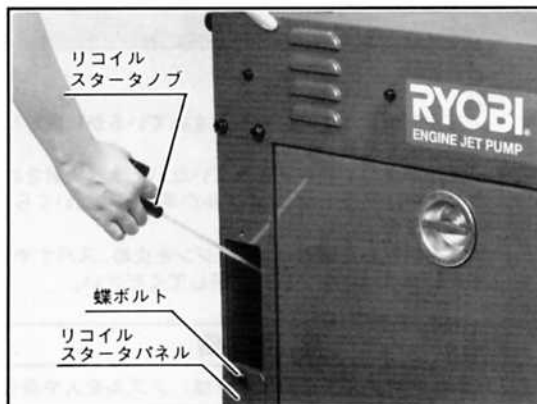
1分以上水が出て来ない場合は、エンジンを停止させ、5分以上放置し、各部の接続、ストレーナの目づまり、つまり水の状態を確認し、ポンプを十分冷却した後、運転を再開してください。

12. スロットルレバーを**始動**の位置にし、暖機運転（約5分）を行なってください。



● バッテリーが上がったときの始動

1. バッテリーが上がら、始動スイッチを始動の位置にしても、エンジンがかからない場合は、リコイルスタータパネルの上の蝶ボルトを外し、下の蝶ボルトを緩めながら、パネルを下に回転させてください。
2. 始動スイッチを**運転**にしてください。リコイルスタータノブを握り、圧縮位置（少し重くなる所）まで軽く引き、この位置から勢よく引張ってください。エンジンが始動したら、リコイルスタータノブを、ゆっくりと元の位置に戻してください。
3. リコイルスタータパネルを取付け、蝶ボルトを締付けてください。



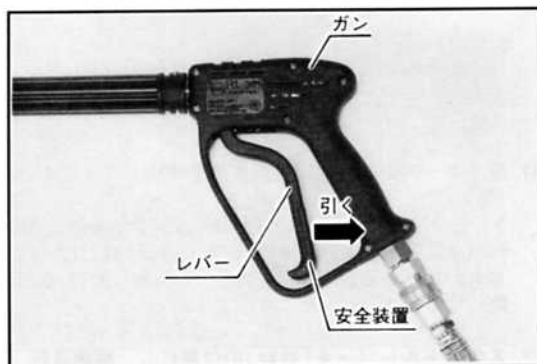
警告

- ・ 噴射の方向に人、動物、壊れやすいものなどがいないことを確認してから作業してください。
- ・ 両手でガンをしっかり握り、安定した体勢で使用してください。
- ・ 水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。
- ・ ガンのレバーを、ひもや針金で固定して使用しないでください。
- ・ 使用中、製品は熱くなります。使用中や使用直後に手で触れたり、水をかけたりしないでください。
- ・ マフラーやマフラー周辺に、可燃物を置いたままエンジンを運転しないでください。

1. 暖機運転終了後、スロットルレバーを **高速** にしてください。



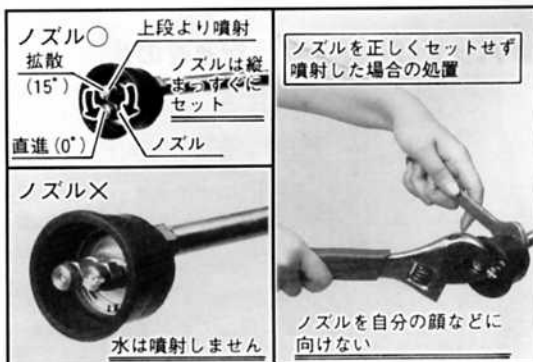
2. ガンのレバーの安全装置を解除し、レバーを引くと、ノズル先端より高圧水が噴射されます。
(注)
たまり水からガンに水が届くまで、しばらくの間噴射しません。



警告

- ・ ノズルを切換えるときは、ガンのレバーを放し、ガンのレバーにある安全装置をセットしてください。

- ・ ノズルを切換えることにより、噴射角度を変えることができます。希望する噴射角度のノズルを上段にセットし、作業してください。
(注)
 - ・ ノズルが縦まっすぐにセットされているか確認した後、噴射してください。
 - ・ ノズルが正しくセットされていないと水は噴射されず、ランス内は高圧となり、ノズルが手で回せないくらい固くなります。誤って噴射した場合は、エンジンを止め、スパナやモンキーレンチなどでノズルを回してください。



警告

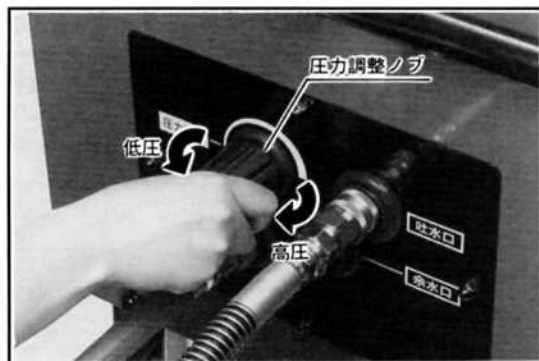
- ・ スパナなどでノズルを回すときは、ノズルを人や自分の顔などに向けて回さないでください。ランス内の水が高圧で噴射され、大変危険です。

● 圧力調整

⚠ 警告

・水の圧力を確かめるため、噴射している水に手を当てることは、絶対にしないでください。

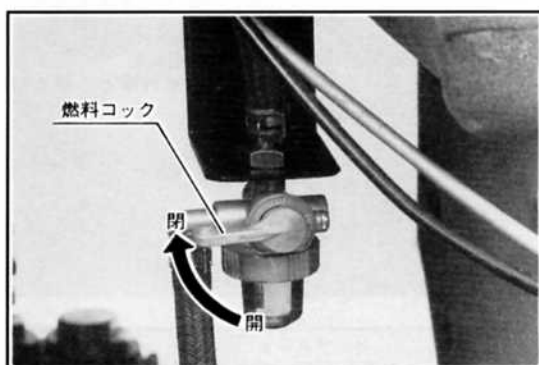
- ・ポンプの最大圧力は 190kgf/cm^2 で設計されています。
使用中、時々圧力計を確認し、上記圧力以下で使用するよう、圧力調整ノブを調整してください。
(注)
指示以上の圧力で使用すると故障します。



終了

1. ガンのレバーを放し、噴射を停止してください。
2. スロットルレバーを「低速」にして低速運転（アイドリング）を1分以上続け、エンジンを冷やしてください。
3. たまり水からストレーナを引出してください。
4. 高圧ホース内に高圧がかかっていますので、一度ガンレバーを握り、圧力、残水を抜いてください。
5. 始動スイッチを「停止」の位置にしてください。
6. サイドカバーを取外してください。
7. 燃料コックを閉じてください。
8. サイドカバーを取付けてください。
9. 高圧ホース、吸水ホース、余水ホースを外し、各ホースの水抜きを行なってください。

(注)
凍結の恐れのある地域では、ポンプ内、および高圧ホース内の水を抜き、十分陰干しをした後、収納してください。



点検と整備

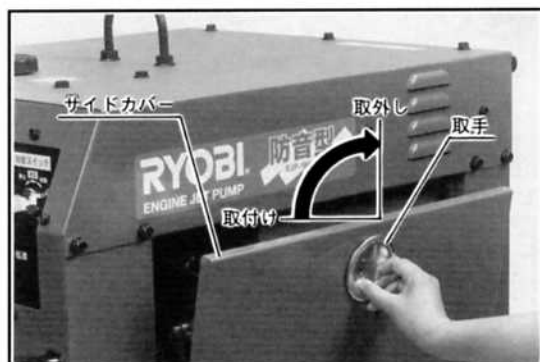
お買上げいただきました高圧洗浄機を、いつまでも調子よく保つために、定期点検を行なってください。

点検項目	点検時間	作業前	50 時間毎	100 時間毎
ポンプオイル		○ (点検)		○ (交換) 初回 25 時間
エンジンオイル		○ (点検)	○ (交換) 初回 25 時間	
バッテリー液		○ (点検)		
エアクリーナ		○ (点検)		
インラインストレーナー		○ (点検)		
クランクケース (ポンプ)				○ (注油)

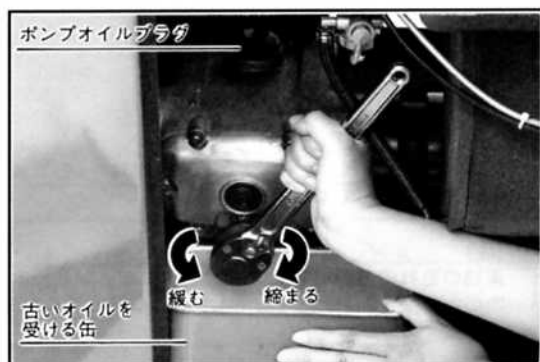
● ポンプオイル

オイルが暖かいうちに抜き取り、新しいオイルを入れてください。

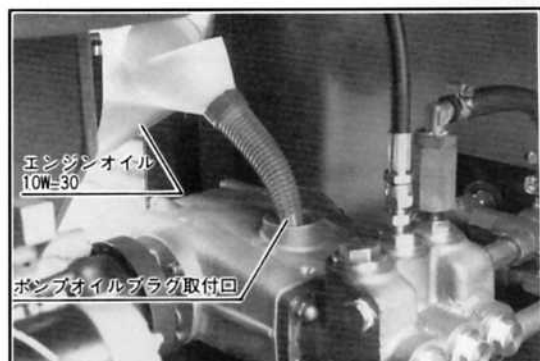
1. 新しいエンジンオイル (API 分類 SD 級以上、SAE 分類 10W-30、600cc) を準備してください。
2. サイドカバーを外してください。



3. 古いオイルを受ける缶を、ポンプオイルドレンプラグ (六角ボルト) の下に受け、プラグをお手持ちのボックスレンチ、メガネレンチ、またはスパナで外し、オイルを抜いてください。
このときポンプオイルプラグを外すと、早く抜けます。
4. 古いオイルが抜けたことを確認したら、ポンプオイルドレンプラグ (六角ボルト) を、スパナなどでしっかり締付けてください。



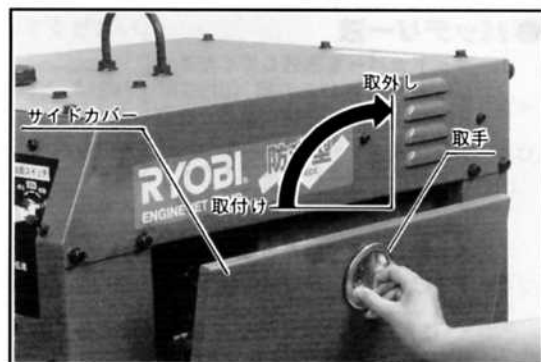
5. 新しいオイルをポンプオイルプラグの取付口より注入し、ポンプオイル点検口をのぞき、中央のオレンジ色の点印より上までオイルがあるか確認してください。
万一、不足している場合は補充してください。
6. サイドカバーを取付けてください。



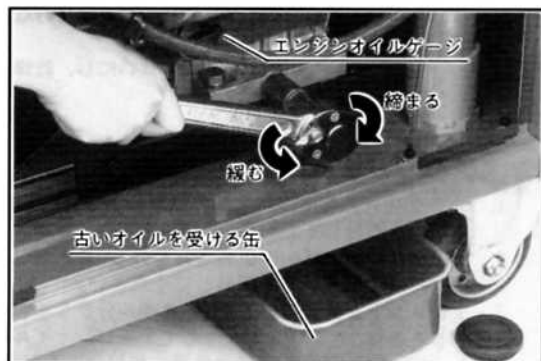
● エンジンオイル

オイルが暖かいうちに抜き取り、新しいオイルを入れてください。

1. 新しいエンジンオイル（API分類SD級以上、SAE分類10W-30, 1.2 Q）を準備してください。
2. サイドカバーを外してください。



3. 古いオイルを受ける缶を、エンジンオイルドレンプラグ（六角ボルト）の下に受け、プラグをお手持ちのボックスレンチ、メガネレンチ、またはスパナで外し、オイルを抜いてください。
このときエンジンオイルゲージを外すと、早く抜けます。
4. 古いオイルが抜けたことを確認したら、エンジンオイルドレンプラグ（六角ボルト）を、スパナなどでしっかり締めてください。



5. 新しいオイルをエンジンオイルゲージの取付口より注入してください。



6. エンジンオイルゲージをねじ込まない状態で差込み、オイルが規定量あるか確認してください。
万一、不足している場合は補充してください。
7. サイドカバーを取付けてください。



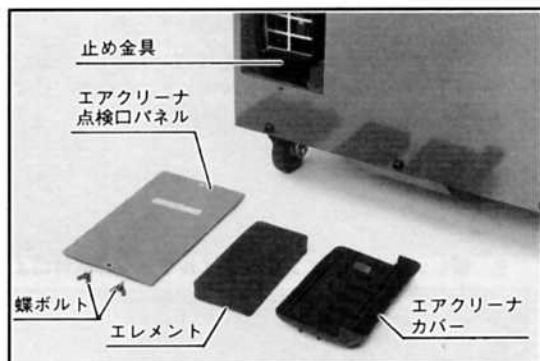
● バッテリー液

1. サイドカバーを取外してください。
2. バッテリー液が上の線 (UPPER LEVEL) と下の線 (LOWER LEVEL) の間にあるか確認してください。
3. 下の線までないときは、キャップを取外し蒸留水、または補充液を上の方の線まで入れてください。
キャップは確実に取付けてください。
(注)
上の線より多く補充しないでください。
4. サイドカバーを取付けてください。
(注)
 - ・ 使用後は、バッテリーを満充電にしておくと、バッテリーが長持ちします。
 - ・ 使用しなくても、バッテリーは自然放電しますので、一ヶ月に一度はバッテリーの充電を行なってください。
 - ・ バッテリーの上面は、常にきれいにし、乾燥した状態を保ってください。
引火の原因になります。



● エアクリーナ

1. エアクリーナ点検口パネルの蝶ボルトを2ヶ所緩め、パネルを取外してください。
2. エアクリーナカバーの止め金具を外し、エアクリーナカバー、エレメントを取外してください。
3. エレメントが汚れているとき、オイル分がなく乾いているときは、ガソリンで洗浄してエンジンオイルに浸し、片手で軽く絞って、元の位置に組付けてください。
4. エアクリーナ点検口パネルを取付け、蝶ボルトを締付けてください。



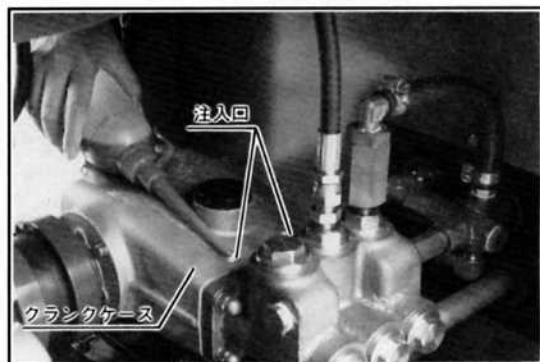
● インラインストレーナ

1. インラインストレーナの六角部を、お手持ちのモンキーレンチで緩め、外してください。
2. ストレーナ (金網) を、水で網目のつまりを取るように洗ってください。
3. インラインストレーナをサクシジョンニッブルに取付けてください。
ゴムパッキンが入っているので、必要以上に強く締付けないでください。
ゴムパッキンが傷みます。



● クランクケース (ポンプ)

1. サイドカバーを取外してください。
2. クランクケースの注油口に数滴注油してください。
長期間ポンプを使用しなかった場合は、必ずポンプ運転前に注油を行なってください。
3. サイドカバーを取付けてください。



長期保管

本機を30日以上使用しない場合は、下記の方法で保管してください。

1. キャブレタ内の燃料を、燃料ドレンより排出するとともに、燃料コックより燃料タンクの燃料を抜いてください。
2. 点火プラグを外して、シリンダ内にエンジンオイルを少量(約10cc)注入し、リコイルスタータを数回引き、再び点火プラグを取付け、再度リコイルスタータを圧縮のある所まで引いて止めてください。
3. エンジンオイル、ポンプオイルを点検し、汚れているときは交換し、不足しているときは補充してください。
4. 外面を油のしみた布で清掃し、乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に保管してください。(ほこりがかからないように、カバーなどをしておいてください。)

薬剤散布について

ここでは、薬剤散布方法を記載します。

● 使用可能な薬剤の種類について

- ・ 薬剤は、園芸用以外のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー、油、ゾール系、塗料、防疫用薬品、畜産用薬品など)は、絶対に使用しないでください。

使用できる薬品(園芸用)

- ・ 水和剤系 —— 硫黄水和剤、ヤンブタン(オーソサイド)マンネブダイセンM、カラセン、ジネブトップジン、トリアジン、ダイアジノン、ダイホルタン、クサトール、モレスタン、ベントーレ、ダイセンテナボンなど
- ・ 乳剤系 —— コシン油乳剤、バイジェット、リンデン、スマイト、ディブテレックス、EPN、除虫菊、スミチオン、ジメートエイト、スプラサイト、ODVP、カルホス、フェンカプトン、サンソー、アカール、デナボン、2-4D、ダイアジノン、マラソン、硫黄ニコチン、グラモキソンなど

使用できない薬品

- <園芸用> 粉剤系、粒剤系の薬品は使用できません。
- <園芸用以外> 畜産用薬品、防疫用殺菌、殺虫剤を使用すると、ポンプが故障することがあります。
- ・ 油剤系の例 —— クロルデン、バイテックス、フマキラ、マリアンチ、デイレンドリン、アース、DDT、DVP、フェントロチオン、リンデンなど
- ・ 水溶液の例 —— ホルマリン、オールソー、逆性石けん液など

(注)

上記の薬品につきましては、必ずメーカーに問い合わせをした後、使用するようにしてください。

● 運転準備

- ・ 薬品を完全に液化させ、こし網などでこした後、その薬品の入っている容器の中に、ストレーナを完全に水没させてください。
使用方法は、通常と同じ方法で使用してください。(P10からP14参照)
- (注)
ポンプやノズルの故障を防ぐため、必ずストレーナを使用してください。

● 運転の終了

- ・ 薬剤散布後は、ポンプ、ホース、およびノズル内に薬剤が残留しないように、十分に清水を吸入、噴射してください。

▲ 注意

- ・ 海水を使用したり、薬剤散布後は、十分清水を吸入、噴射させ、洗い流してください。

故障かなと思ったら

故障かなと思われましたら、次のチェックにそって点検を行なってください。

● エンジンの主な故障と原因

故 障	原 因	対 策
始 動 困 難	エアクリーナエレメントの目詰り	点検、清掃
	フューエルフィルターホースの詰り	点検、清掃
	キャブレタ不良（ポート、ジェット類の詰り）	点検、清掃
	イグニッションコイル（含ユニット）不良	点検、交換
	点火プラグ不良	点検、清掃
運 転 不 調	ガバナ調整不良	点検、調整
	バルブクリアランス不良	点検、調整

● ポンプの主な故障と原因

故 障	原 因	対 策
圧力が上がらない	ノズル部に異物が混入	点検、清掃
噴射状態が悪い	吸水量の不足、不安定	吸水ホース、ストレーナの点検、清掃 たまり水の水量点検、補給
水を吸込まない	ポンプ内に異物が混入	点検、清掃
異音がする	たまり水の位置不良	点検、調整 ポンプとたまり水のヘッド差 2m 以内 吸水ホースの長さ 3m 以内

● これらのチェックを行なっても、正常に運転できない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※ 改良のため、お断わりなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI 発売元 **リョービ販売株式会社** 製造元 **リョービ株式会社**